

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3205043	体育科教育法 Teaching Method of Physical Education	埴 佐敏	専門	2	選択	1年 前期
科目の概要						
<p>本科目はこれまで学習者として受けてきた体育の授業が、どのような意図のもと、どのような工夫によって授業が行われてきたかの理解していく。そして、教師として必要な新学習指導要領の内容を理解するとともに、その趣旨に基づいた授業づくりを身に付けていくことを目的とする。</p>						
学修内容			到達目標			
① 学習指導要領の変遷と体育科の目標の変遷を理解する。 ② 各運動領域の目標と内容を理解する。 ③ 学習指導案の作成方法を学ぶ。			① 学習指導要領の変遷に伴う新学習指導要領の趣旨を述べるができる。 ② 各運動領域の目標と内容の概略を、発達段階と関連付けて述べるができる。 ③ 新学習指導要領の趣旨を生かした指導案を作成することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	・学修内容に関連する事項や課題について、テキストを用いて自己学修をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	・教師となることを目指し、指定された課題を期限内に仕上げることができる。				
考え抜く力	課題発見力	・講義の資料やテキスト等から小学校体育の指導上の課題を具体的事例の中で考えることができる。				
	計画力					
	創造力	・新学習指導要領の趣旨を生かした授業展開を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	・指導案の作成に当たり、自分の考えた授業構想を発表することができる。				
	傾聴力	・講義内容や発表内容について、疑問点を明確にしながら質問することができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	・教師として学校で子どもに守らせるべきルールやマナーを自分で考え、自らが遵守できる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
【テキスト1】文部科学省:小学校学習指導要領(平成29年告示)解説体育編 平成29年7月、2018						
【テキスト2】岩田靖・吉野聡・日野克博・近藤智靖編著:初等体育授業づくり入門、大修館書店						
他科目との関連、資格との関連						
関連科目:体育科研究、体育実技A						
関連資格:小学校教諭一種						
学修上の助言			受講生とのルール			
配付プリントや資料を覚えるだけでなく、学習指導要領やテキストでそれらの資料との関連を確認すること。また新聞等で教育の動向に着目する探究心を期待する。さらに、授業中の質問に発言する積極性を求める。			・座席を指定するので、指定の場所に着席すること。 ・遅刻、欠席に正当な理由がない場合は、減点する(出席による加点はない。授業の3分の2以上の出席で試験を受けることかできる)。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領の趣旨や内容について理解力を評価する。 ・体育授業の構成要件等、授業づくりに関する理解力を評価する。
		②	✓	
		③		
小テスト	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間内に3回の小テストを行う。小学校学習指導要領解説体育編を中心に講義で扱った内容の確認テストを行う。
		②	✓	
		③		
レポート	20	①		<ul style="list-style-type: none"> ・指定された運動領域の学習指導案をA4用紙3枚程度で作成する。
		②	✓	
		③	✓	
成果発表 (口頭・実技)		①		
		②		
		③		
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) ・体育の授業づくりについてテキスト等を調べ、自己学修を進めることができる。 (実行力) 講義で学んだ内容を教育実践に生かすための方策を最後まで仕上げることができる。 (課題発見力) 小学校体育の指導上の課題を具体的事例の中で考え、改善策を探ることができる。 (創造力) 体育授業を“トレーニング”でなく“ラーニング”の視点で考えることができる。 (発信力) 習得した知識や自らの工夫点を聞き手に分かりやすい声の大きさとスピードで発表できる。 (傾聴力) 人の意見をしっかり聴き、それを踏まえたうえで自らの意見を適切に述べることができる。 (規律性) 無駄欠席や居眠り、私語など講義に支障をきたす行為をせず、授業が円滑に進行するよう諸ルールを守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の変遷から見た新学習指導要領の趣旨及びねらいを具体的に説明できる。 ・各運動領域の指導内容について、系統性を加味して具体的に説明できる。 ・自作の学習カードや資料を取り入れた学習指導案を作成できる(S(秀))。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の変遷から見た新学習指導要領の趣旨を説明できる。 ・各運動領域の指導内容について、系統性を説明できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	○オリエンテーション ○体育授業が指すもの ○学習指導要領の変遷と体育科の目標	・講義	・体育の授業は何を学び、何を指すのかを説明できる。 ・学習指導要領の変遷を説明できる。	(予習)初等体育授業づくり入門(以後、体育入門)の第1章を読んでおく。 (復習)講義内容をノートにまとめる。	180	主体性
2週 /	○学習指導要領の変遷と体育科の目標	・講義 ・グループ討議	・学習指導要領の変遷に伴い体育の目標がどのように変わったのかを説明できる。	(予習)学習指導要領解説体育編(以後、解説書)を読んでおく。 (復習)解説書を基に講義内容をまとめる。	180	主体性
3週 /	○体育の授業構成とよい体育授業(体育科の目標と関連させて)	・講義 ・グループ討議	・体育の学習過程の特徴及びよい体育授業の要件について体育科の目標と関連させて説明することができる。	(予習)体育入門の第2章、第3章を読んでおく。 (復習)体育入門を基に講義内容をまとめる。	180	主体性
4週 /	○体づくり運動の目標と指導内容	・講義 ・グループ討議	・体づくり運動の低・中学年と高学年の違いを述べることができる。 ・体づくり運動で扱う指導内容の概略を述べることができる。	(予習)解説書と体育入門を読み、体づくり運動の概略を把握しておく。 (復習)体づくり運動の内容をまとめる。	180	課題発見力 創造力
5週 /	○器械・器具を使った運動遊びの目標と指導内容	・講義 ・グループ討議 ・指導法検討	・器械・器具を使った運動遊びで扱う内容を習得させたい運動感覚との関連で述べることができる。 ・器械・器具を使った運動遊びの指導法を考えることができる。	(予習)解説書と体育入門の器械・器具を使った運動遊びを読んでおく。 (復習)器械・器具を使った運動遊びはどんな運動で、何を学ぶのかをまとめる。	180	課題発見力 創造力
6週 /	○器械運動の目標と指導内容	・講義 ・ビデオ視聴 ・指導法検討	・器械運動の目標と習得させたい技能の系統性を述べることができる。 ・器械運動の指導法を前時との関連から考えることができる。	(予習)解説書と体育入門の器械運動を読んでおく。 (復習)器械運動の指導内容を前時との系統性からまとめる。	180	課題発見力 創造力
7週 /	○陸上運動(系)の目標と指導内容	・講義 ・指導法検討	・陸上運動(系)の目標と指導内容を述べることができる。 ・陸上運動のハードル走の指導法を考えることができる。	(予習)解説書と体育入門の陸上運動系を読んでおく。 (復習)目標との関連からハードル走の指導法をまとめる。	180	課題発見力 創造力
8週 /	○水泳運動(系)の目標と指導内容	・講義 ・ビデオ視聴 ・指導法検討	・水泳運動(系)の目標と習得させたい技能の系統性を述べることができる。 ・水泳運動(系)の指導上の留意点を基に、指導法を考えることができる。	(予習)解説書と体育入門の水泳運動系を読んでおく。 (復習)水泳運動系の指導内容を系統性からまとめる。	180	課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	○ゲームの目標と指導内容	・講義 ・グループ討議 ・指導法検討	・ゲームの目標と指導内容を述べることができる。 ・ゲームの指導内容を一つ取り上げ、指導法を考えることかできる。	(予習)解説書と体育入門のゲームを読んでおく。 (復習)ゲームの目標を達成するための指導法をまとめる。	180	課題発 見力 創造力
10週 /	○ボール運動の目標と指導内容	・講義 ・グループ討議 ・指導法検討	・ボール運動の目標と指導内容を述べることができる。 ・ボール運動のネット型の指導法を考えることかできる。	(予習)解説書と体育入門のボール運動を読んでおく。 (復習)ボール運動のネット型の目標を達成するための指導法をまとめる。	180	課題発 見力 創造力
11週 /	○表現運動(系)の目標と指導内容	・講義 ・ビデオ視聴 ・グループ討議 ・指導法検討	・表現運動(系)の目標と指導内容を述べることができる。 ・表現運動系の指導内容を一つ取り上げ、指導法を考えることかできる。	(予習)解説書と体育入門の表現運動系を読んでおく。 (復習)表現運動系の目標を達成するための指導法をまとめる。	180	課題発 見力 創造力
12週 /	○体育授業に必要な学習資料・学習カード	・講義 ・グループ討議 ・個人作業	・体育の授業に必要な学習資料や学習カードを作成することができる。	(予習)運動領域の指導法を検討する過程を通し、体育学習に必要な資料やカードを収集する。 (復習)授業で作成した以外の学習カードを作成する。	180	課題発 見力 創造力
13週 /	○体育の学習指導案の作成①	・講義 ・グループ討議 ・個人作業	・体育の学習指導案のうち、単元目標及び単元計画を作成できる。	(予習)指定された領域の体育の学習指導案を収集する。 (復習)本時の内容をまとめる。	180	実行力 発信力
14週 /	○体育の学習指導案の作成②	・講義 ・グループ討議 ・個人作業	・体育の学習指導案を作成できる。 ・体育授業で活用できる学習資料か学習カードを作成できる。	(予習)指定された領域の体育の学習指導案を収集する。 (復習)授業で活用できる学習資料もしくは、学習カードとともに、学習指導案を作成できる。	180	実行力 発信力
15週 /	○体育授業における評価(指導と評価の一体化) ○まとめ	・講義 ・グループ討議 ・個人作業	・授業における評価の役割について説明できる。 ・指導と評価の一体化か、体育授業の実際の評価法を作成できる。	(予習)体育入門の第5章を読み評価について考えてくる。 (復習)作成した指導案の評価を完成させる。	180	実行力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力